

調布航空宇宙センター

調布航空宇宙センターでは、社会のニーズに対応した航空技術や宇宙開発を発展させるための先行的な研究開発を行っています。また、宇宙および航空に関する研究開発を推進するために必要な風洞、スーパーコンピュータなどの大型設備の整備に努めています。



調布航空宇宙センター入口



飛行場分室(多目的実証実験機MuPAL-α)

概要

【面積】
 総敷地面積
 173140.90平方メートル
 (うち飛行場分室
 51636.25平方メートル)

展示室

展示室では、これまでに行ってきた研究活動や現在取り組んでいる研究を紹介しています。
 宇宙往還機による飛行・操縦を模擬体験できる「スペース・ミッション・シミュレータ」や実際に風を流すことができる「風洞模型」などがあります。



- 入館料 無料
- 開館時間 10時～17時
- 休館日 土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

団体見学を希望される方は、調布航空宇宙センター見学担当までご連絡ください。

所在地



交通機関のご案内

- 調布航空宇宙センター
 - ・JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口下車、バス3番乗り場(武蔵境駅南口行き)「三鷹市役所」下車徒歩約5分、またはバス8番乗り場(調布駅北口行き)「航研前」下車
 - ・JR中央線「三鷹駅」南口下車、バス7番乗り場(仙川行きまたは杏林大学病院行き)「三鷹市役所」下車、徒歩約5分
 - ・京王線「調布駅」北口下車、バス14番乗り場(吉祥寺駅行き)「航研前」下車
- 飛行場分室
 - ・京王線「調布駅」北口下車、バス12番乗り場(武蔵小金井駅北口行き)、バス11番乗り場(武蔵境駅南口行き)「大沢コミュニティセンター」下車徒歩約15分

調布航空宇宙センター

〒182-8522 東京都調布市深大寺東町 7-44-1
 TEL. 0422-40-3000 FAX. 0422-40-3281
 飛行場分室
 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 6-13-1

広報部

〒100-8260 東京都千代田区丸の内1-6-5
 丸の内北口ビルディング3階
 TEL. 03-6266-6400 FAX. 03-6266-6910
 JAXAウェブサイト <http://www.jaxa.jp/>

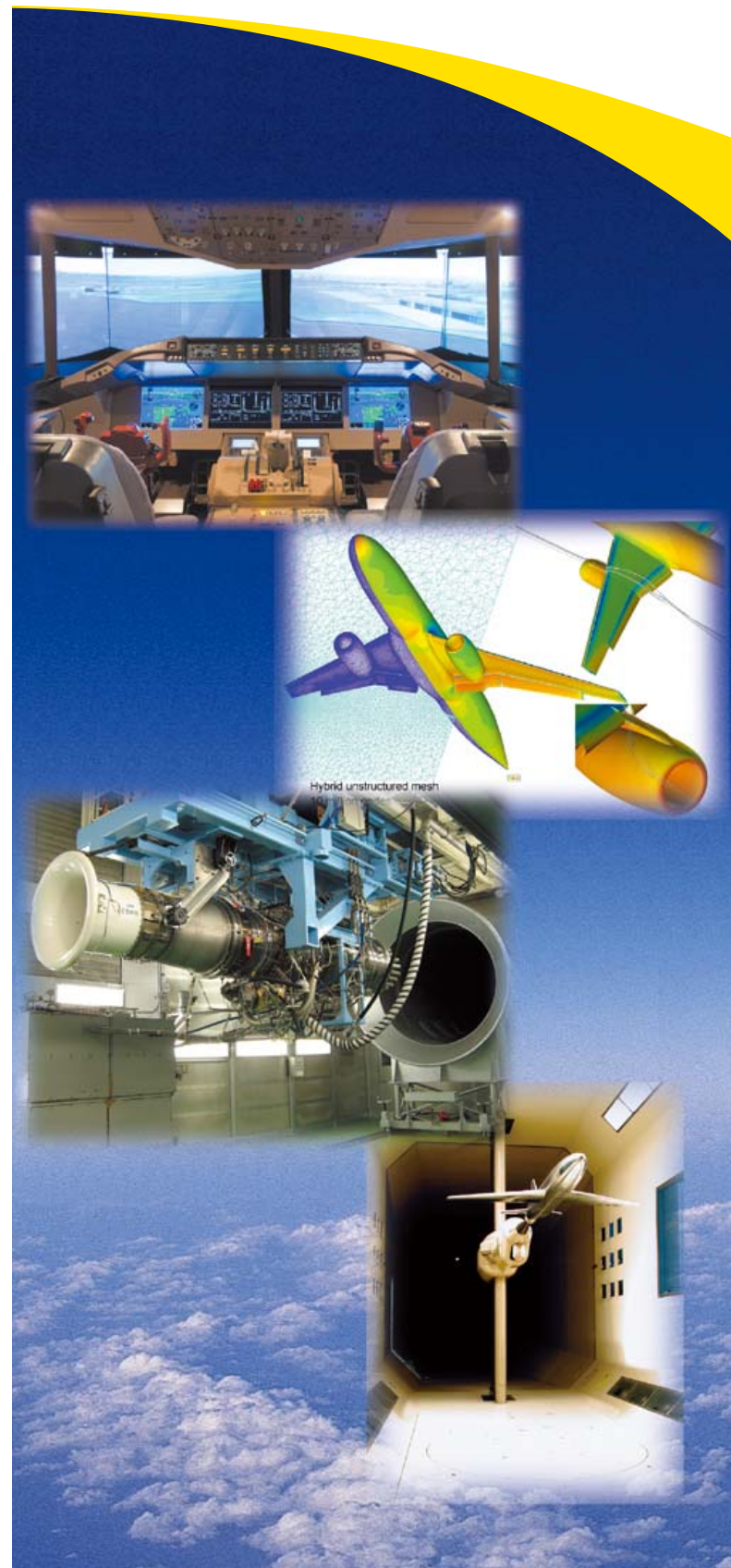


JSF111210T
再生紙を使用しています

空へ挑み、宇宙を拓く



調布航空宇宙センター



宇宙航空研究開発機構

宇宙とともに生きる未来のために。 無限の可能性に迫ることが、 JAXAの使命です。

無限ともいえる広大な宇宙への憧憬と畏怖。
 それは、人類の歴史とともに始まりました。
 私たちの祖先が仰ぎ見て、想像するほかなかったその世界は、
 驚異的に進化を遂げた科学技術により、現代では
 人類が活躍する重要なフィールドとなっています。
 そして、地球に暮らす私たちとも、
 深いつながりをもった存在となりました。
 広大な宇宙は未だ多くの謎に包まれています。
 しかし、宇宙は私たちに無限の可能性を見せてくれています。
 その謎に迫り、さらなる活動を展開し、
 より豊かで安全な暮らしを力強く支えてゆくために。
 これからも大いなる使命を持って、JAXAは挑み続けます。

JAXA 宇宙航空研究開発機構の活動

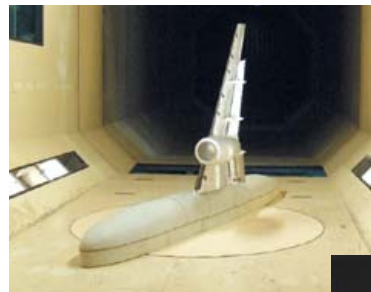
宇宙科学	宇宙、そして太陽系の謎に挑み、地球の誕生、生命の誕生の謎に迫る。	
人工衛星・観測画像	宇宙からの“目”で地球を見守る。人工衛星の利用で暮らしを支える。	
宇宙環境利用	人類がつかんだ新たな環境。その環境利用の可能性に挑むため、国際宇宙ステーション計画が進行している。	
ロケット・輸送システム	地上と宇宙を結ぶ輸送システムの可能性を開き宇宙活動の発展に応える。	
航空プログラム	航空産業の成長への貢献と将来航空輸送の新たな発展をめざす。	
技術研究	たゆみない研究の積み重ねで、自律性のある技術基盤を確立する。	

たゆみない研究の積み重ねで、自律性のある技術基盤を確立します。

航空技術研究開発

日本の航空技術を世界トップレベルへ先導し、環境に優しく安全性を高める航空輸送システムの実現を目指しています。

事故時の耐衝撃構造、パイロットに起因する事故防止のための航空安全技術及び騒音低減、CO₂低減等の航空環境技術の研究により、社会要請に応じていきます。また、無人機技術や超音速機技術などの次世代を切り拓く航空技術の研究にも取り組んでいます。これらの成果が国産旅客機・国産エンジン開発に貢献していくことが期待されています。



高揚力装置研究用の風洞試験模型



マルチセクタ燃焼器内火炎



静粛超音速研究機 (イメージ)



日常運航データ再生ツール DRAPの表示例

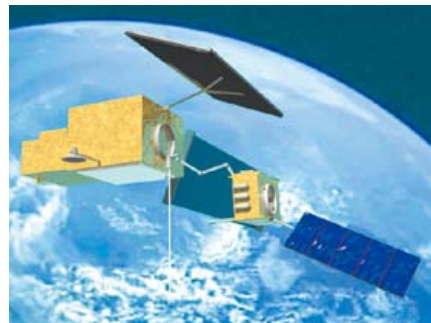


小型無人飛行機

宇宙技術研究開発

わが国の宇宙開発を将来にわたって継続的に発展させるため、先行的な研究開発を進め将来の宇宙プロジェクトを先導します。

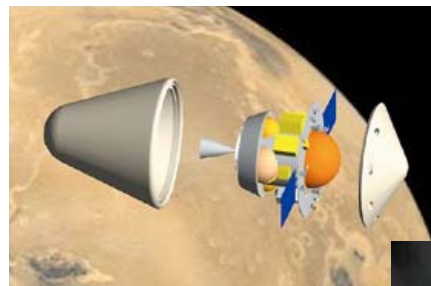
宇宙活動の安全性を確保するためデブリの観測技術、衝突リスク対策および軌道環境保全に関する研究や、宇宙ミッションの安全かつ経済的な実施を支援するために宇宙ロボットの研究を進めています。また、軌道上や月・惑星などにおいて必要となる宇宙活動に向けた研究開発を行っています。



導電性レーザーによるデブリ投棄技術 (イメージ)



二酸化炭素から酸素を回収する空気再生装置



火星無着陸サンプルリターン技術の開発 (イメージ)



月着陸探査試験フィールドで試験する実験用ローバ

基盤技術研究と試験設備

航空宇宙開発の将来に向けた基盤研究を行うとともに、各種大型試験設備を運用し、産業界や大学などに広く供用しています。

数値シミュレータを用いて空気の流れを計算し再現するCFD(計算流体力学)は、航空機や宇宙往還機の設計に欠かせない最新技術となっています。また、複合材の開発や試験評価、エンジン要素、航空機制御などの先進的な研究にも、将来を見据えて取り組んでいます。

大型風洞やエンジン試験設備、飛行シミュレータ、実験用航空機、複合材試験設備、数値シミュレータシステムなど広範な設備や装置を備え、JAXAの研究開発を支えるとともに、民間企業などにも活用機会を提供し実用開発に役立てています。



複合材試験装置



飛行シミュレータ設備



環状燃焼器試験設備



2m×2m遷音速風洞

【主な設備】

